

この公表資料は当店ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/kagoshima/>



2022年12月14日
日本銀行鹿児島支店

鹿児島県金融経済概況

【概要】

鹿児島県の景気は、持ち直している。

すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、持ち直している。観光は、着実に持ち直している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。

生産は、持ち直しの動きが一服している。

企業部門の動向を短観（12月＜鹿児島・宮崎両県集計分＞）で見ると、景況感は、改善している。設備投資は、高水準で推移している。

こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として緩やかに改善している。

【各論】

1. 個人消費

百貨店・スーパー販売額は、前年を下回った。家電販売額は、前年を上回った。乗用車新車登録台数（含む軽自動車）は、前年を上回って推移している。

2. 観光

主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を上回って推移している。

3. 公共投資

公共工事請負金額は、前年を上回って推移している。

4. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年を下回った。

5. 生産

鉱工業生産指数（季節調整済）は、窯業・土石製品、電子部品・デバイスを中心に前月を下回った。

6. 雇用・所得環境

有効求人倍率（季節調整済）は、低下した。

現金給与総額は、前年を下回って推移している。

常用労働者数は、前年を上回って推移している。

7. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回って推移している。

8. 金融面

預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、緩やかな低下が続いている。

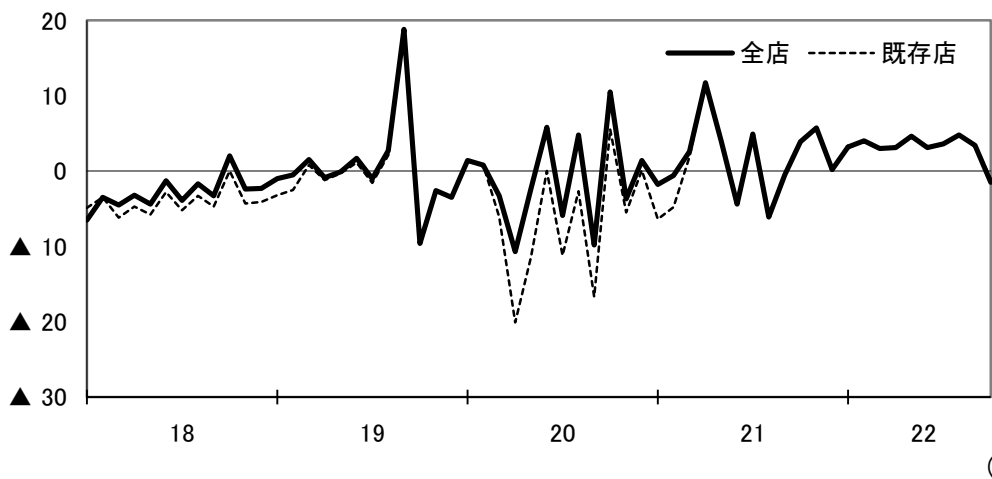
企業倒産件数は、低水準で推移している。

以 上

鹿児島県主要金融経済指標

pは速報値
rは修正値

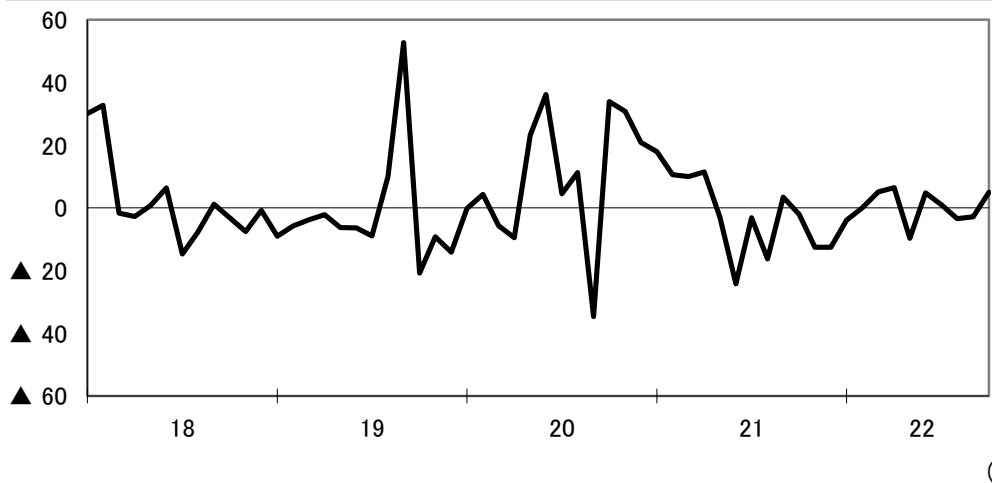
(図表1)百貨店・スーパー販売額<前年比、%>



全店	
9月	+3.4
10月 p	▲1.5
既存店	
9月	+3.5
10月 p	▲1.1

(出所)経済産業省

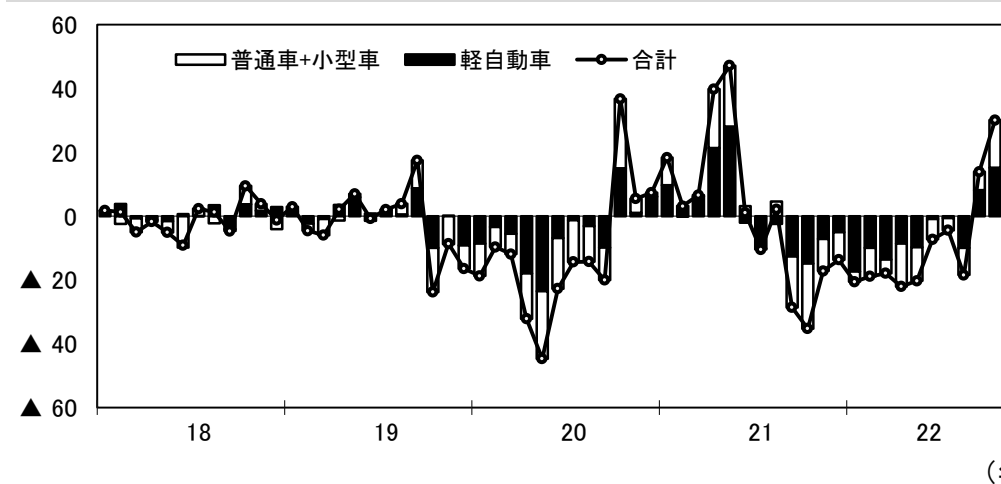
(図表2)家電大型専門店販売額<前年比、%>



9月 r	▲2.9
10月 p	+5.0

(出所)経済産業省

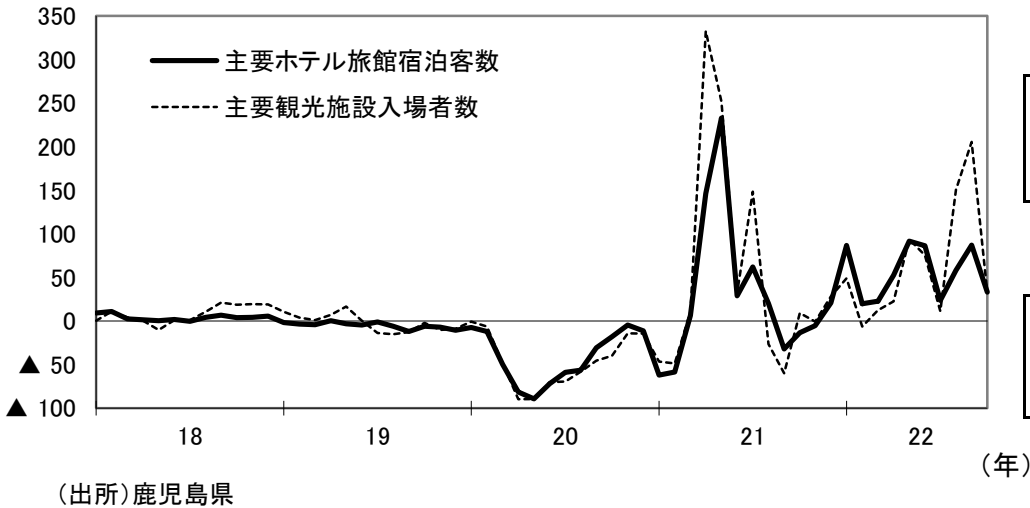
(図表3)乗用車新車登録台数<前年比、寄与度、%>



9月	+13.9
10月	+30.1

(出所)鹿児島運輸支局、一般社団法人全国軽自動車協会連合会

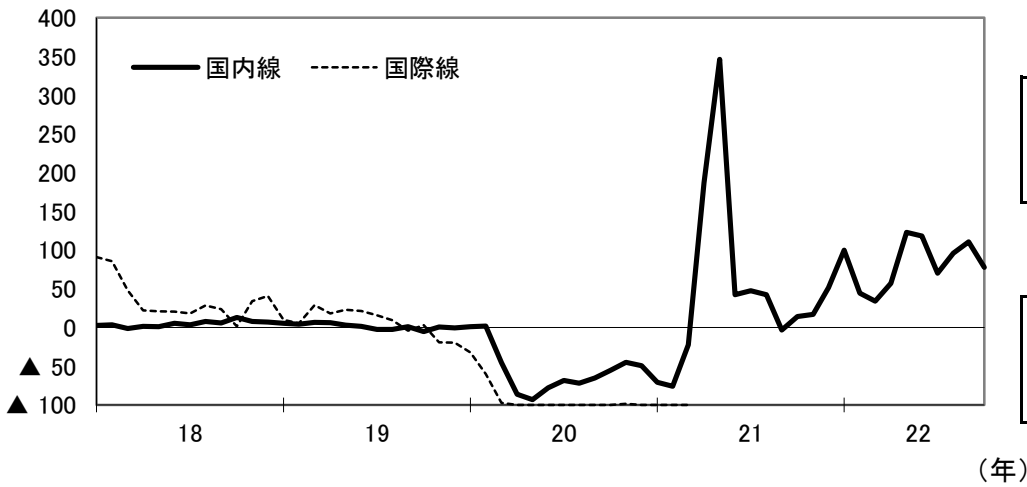
(図表4) 主要ホテル旅館宿泊客数・主要観光施設入場者数<前年比、%>



主要ホテル旅館 宿泊客数	
9月	+87.2
10月	+33.0

主要観光施設 入場者数	
9月	+205.6
10月	+32.5

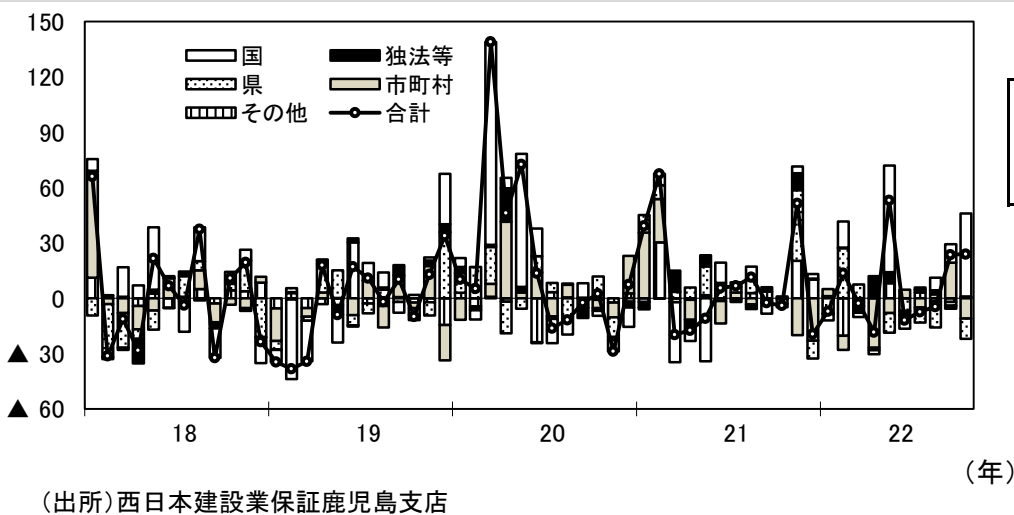
(図表5) 鹿児島空港乗降客数<前年比、%>



国内線	
9月	+110.4
10月	+77.5

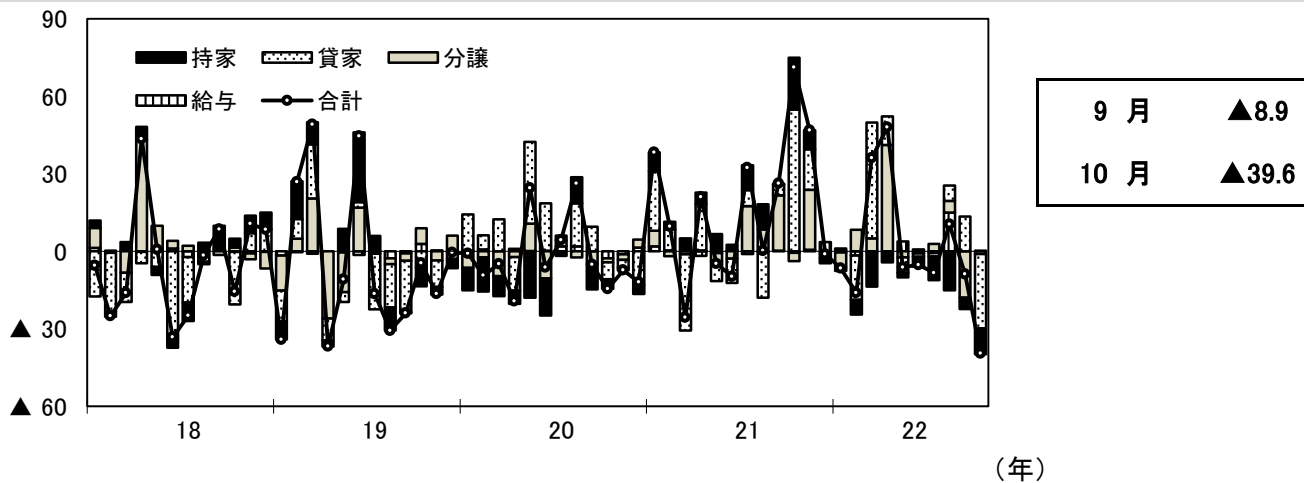
国際線	
9月	n.a.
10月	n.a.

(図表6) 公共工事請負金額<前年比、寄与度、%>

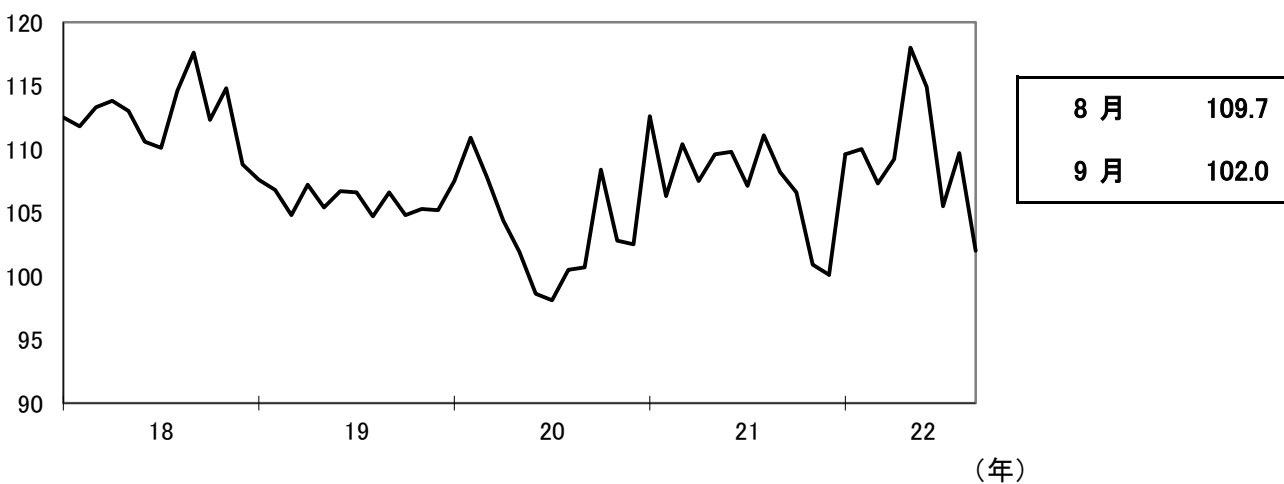


9月	+23.6
10月	+23.9

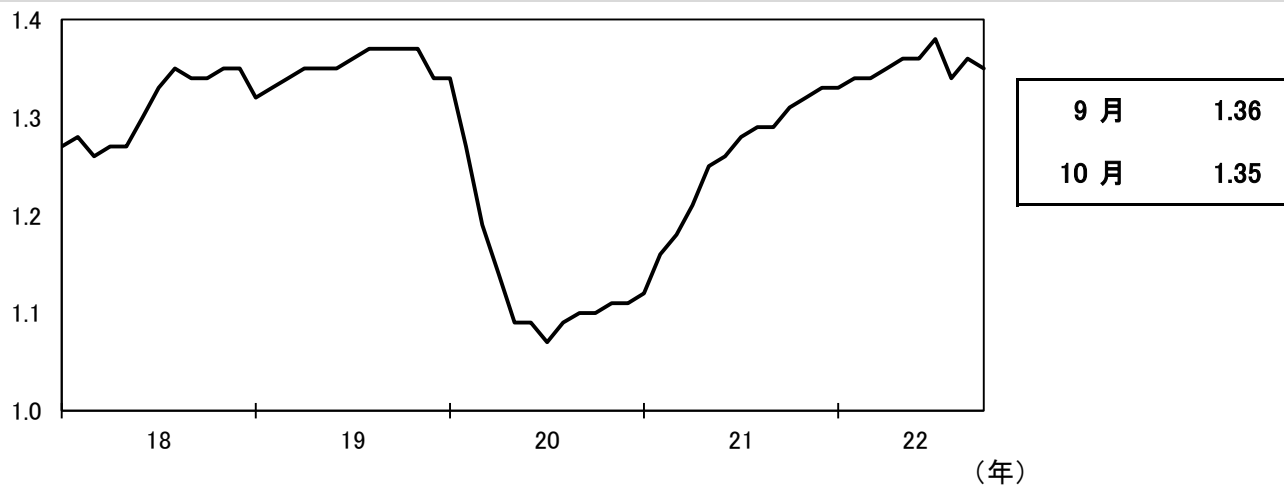
(図表7) 新設住宅着工戸数<前年比、寄与度、%>



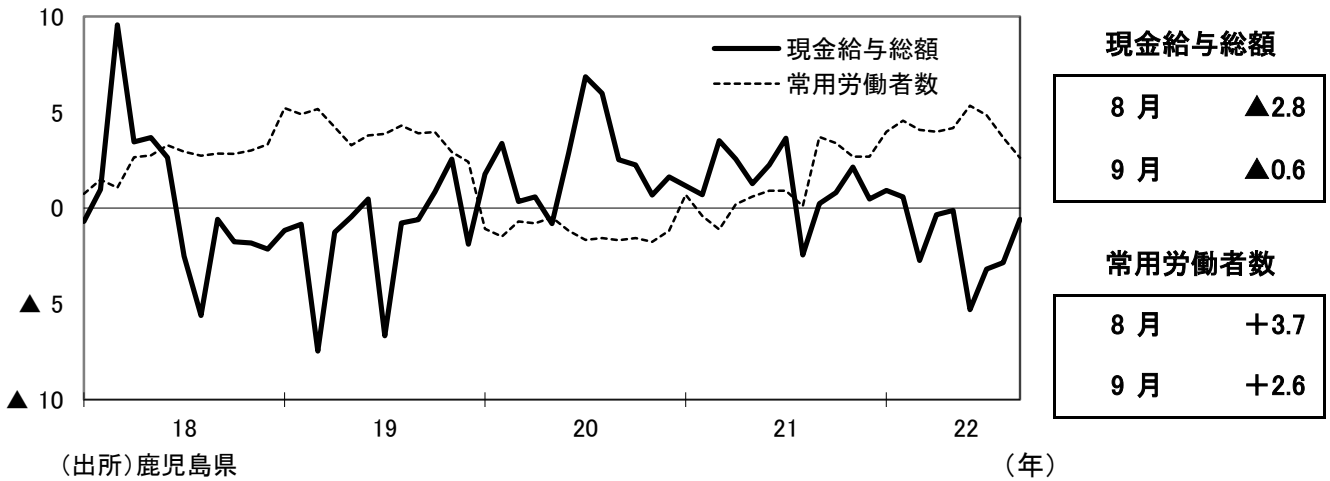
(図表8) 鉱工業生産指数<季調済、15年=100>



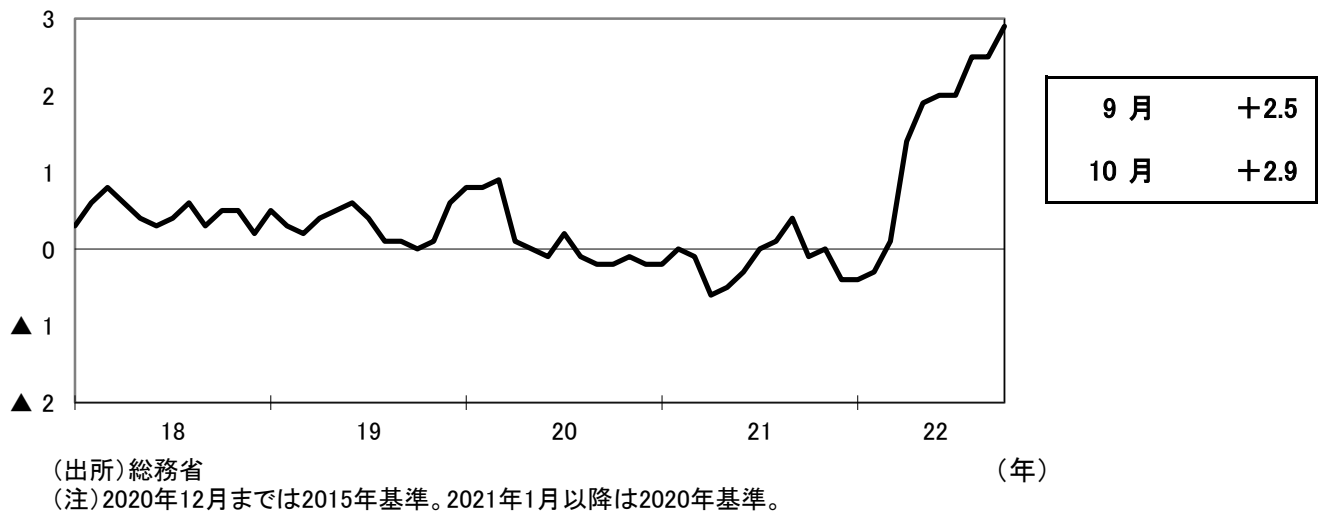
(図表9) 有効求人倍率<季調済、倍>



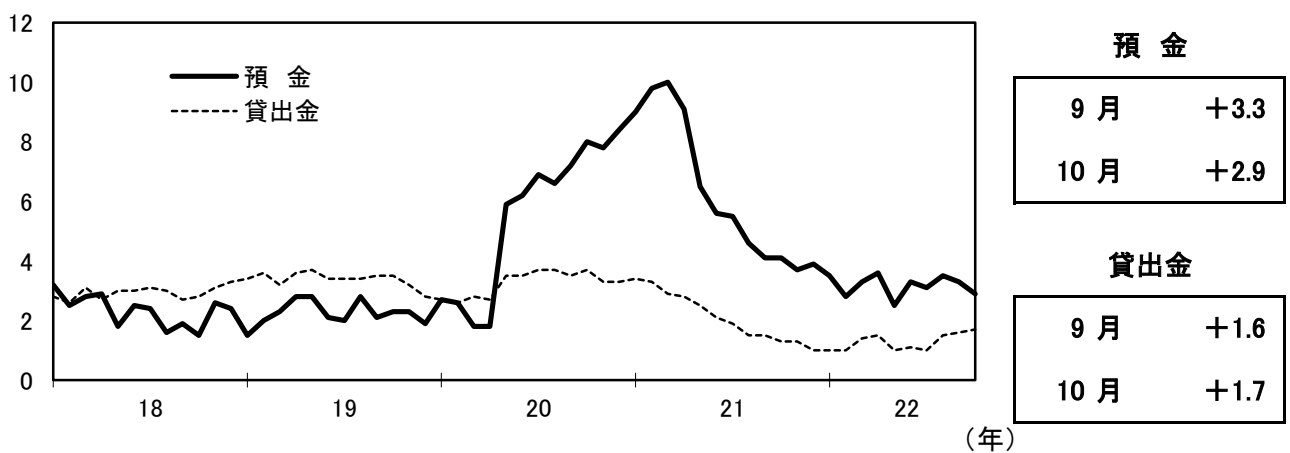
(図表10) 毎月勤労統計<事業所規模5人以上、前年比、%>



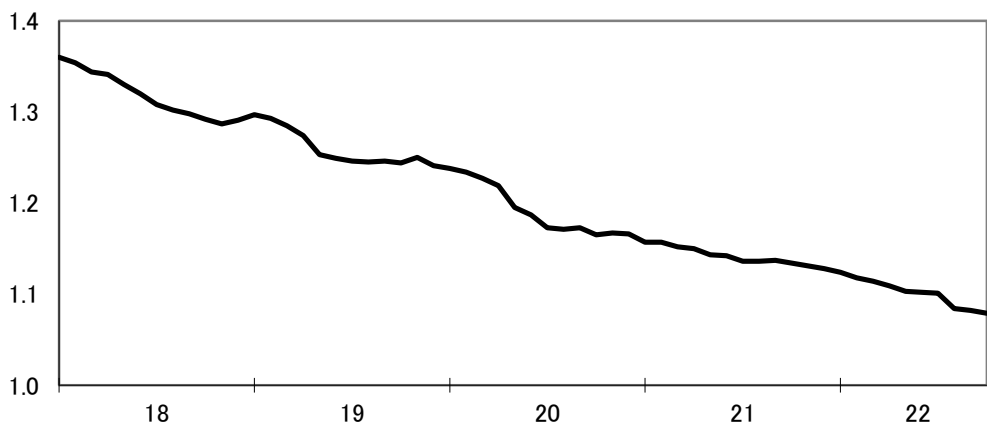
(図表11) 消費者物価指数<鹿児島市、生鮮食品を除く総合、前年比、%>



(図表12) 預金・貸出金<末残、前年比、%>



(図表13) 貸出約定平均金利(ストック総合、%)

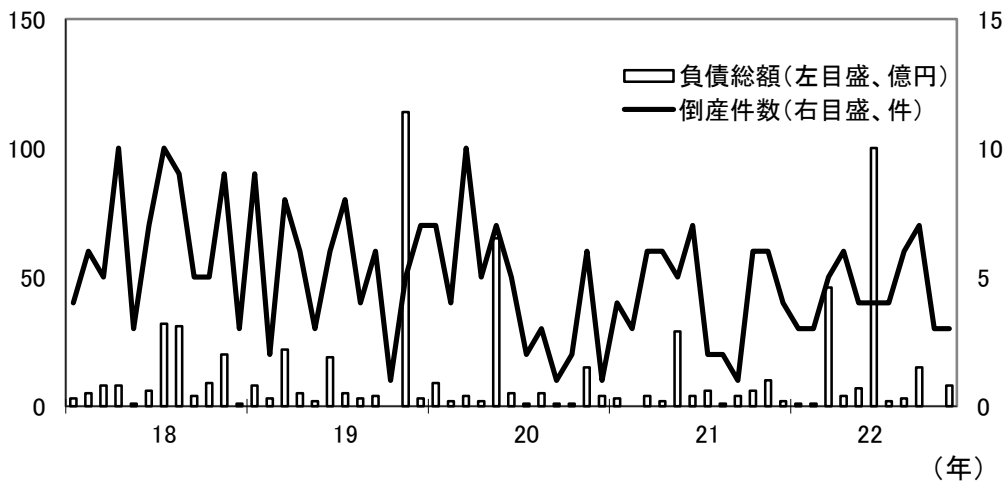


9月	1.082
10月	1.079

(出所) 日本銀行鹿児島支店

(注) 月末時点の値を記載。集計対象は、鹿児島県内に本店を有しており、かつ日本銀行と当座預金取引を行っている国内銀行および信用金庫の貸出金。

(図表14) 企業倒産件数・負債総額<件、億円>



倒産件数(件)	
10月	3
11月	3

負債総額(億円)	
10月	0
11月	8

(出所) 東京商工リサーチ鹿児島支店